

4月26日

湯川秀樹様

早く御挨拶を致しておりますが、湯川様への御挨拶は先般の通りです。

27例の日本での国際会議の準備の件、京都大学基礎物理学研究所、湯川記念館史料室

ヨーロッパの学術の会議出席の助成として、7000の支費が Rockefeller Foundation で決定した方の通知があり、機関が取るお礼をされました。Unescoの方でも、Prof. Wheeler からの日本の会議の重要性の強調もあり、10000 程度支出せよになりましたが、Rockefeller からの補助があることと Unesco の方は少し減ると思っております。しかし合計は 12000 程度は最終としておぼろげに考えています。American physicists の旅費は主に NSF と NRC を通じて支払われることになっており、3月15日に Wheeler からの問い合わせに対して、以下に相違の上 There are about 15 physicists we strongly desire to attend Kyoto conference, letter follows. この電報を Prof. Wheeler に打ちましたから、この電報の内容が書かされたことと承知しております。この Letter follows の letter を 3月19日付で Prof. Wheeler に送りました。(これは書きたかと思っております) 私の個人的な意見として、まだはしらの名、会議の日程をききたい。それには、アメリカから素粒子物理学会で 30人ほどの名前をあげたい。3月22日付で Union の President の Prof. Mott まで、12人ほど同文の手紙を書いたが、名簿にはエエの添えをした。(英の Prof. Peierls と素粒子にまつ、物性は Sir Leonard Jones とおぼろげに) 4月7日付で Prof. Mott からの返信あり。それには "君が上げた名簿は結構だと思ふ。君の方で既に establish された大家をあげることにしなさい。例えば Frank (Bristol, 結晶の物理), Pippard (Cambridge, 低温), Gunn (Glasgow, 接物物理) 等々を加えてほしい。又素粒子と物性との関係は series になってほしい。極(重要な、全部の人の興味をひく)な議題を並べ、他は両方 parallel にやってもいい。" という意味の suggestion があつた。尚、Paris 在外事務局長 藤原徹氏からの外信を通じた情報では、Prof. Mott は Paris の Fleury, Wang (Unesco の Auger の代理) に会い、その際、ヨーロッパから招く二人として、英国から Mott, Peierls or Dirac, 佛から L. de Broglie or Francis Perrin, 独から Heisenberg, 独から Kramers or J. de Boer, 丹から N. Bohr or Moller を suggest した由です。尚、十日日前 永宮健夫氏が京都府立学生として Bristol の Mott の所へ行ったので、物性方面のプログラムの subjects についての私書を送りました。Prof. Mott の意見はよく手紙に記した。この手紙は近日あると思ふ。尚、上述の Prof. Mott からの手紙には、会議の日程、subjects, 順位のつけ方、招待した人の名簿を送るようにと書かれており、ヨーロッパの学者については Mott 自身が、アメリカの学者については Prof. Slater が個別の交渉に当たると書いてあります。

以上のような記事で、当方としては招待者の program までかなり具体的にきめる必要があり、素粒子の方は朝永さんが中心になり、物性の方は私がお世話して昨日は物性の人数も概算がわかっていろいろ協議しました。その結果、~~呼ぶ~~呼ぶ人のリストとして、暫定的に次のおぼろげなリストを添えておきます。

(素粒子)

(物性)

アメリカ { Bethe, Dyson, Fermi, Feynman, Marshak, Oppenheimer, Rabi, Schwinger, Serber, Wheeler

Bloch, Bloembergen, Debye or Flory, Kirkwood, London, J. Mayer, Mulliken, Onsager, Slater, Van Vleck.

ヨーロッパ { N. Bohr, W. Heisenberg, Pauli, Rosenfeld, Peierls

M. Mott, Kramers, J. de Boer, Prigogine (Peierls 並) (若し人は Mott にあわせる) ヨーロッパの物性の名簿はこれと Coulson, Fröhlich, Neel, Yvon, F. Perrin, Gorter. ^{Bose} _{Bose} 音があつておぼろげです。尚、オーストラリアの Green.

インド

Chakha.

物性の方は始め 統計力学だけ... 承知はしたが、Mott などは solid state physics の理論方面を大体含ませる。その上で、私の方で、"Statistical mechanics & Quantum Theory of Matter" とおぼろげにいうことになりました。

subject の program の点では、この方がきつて... わけではありませんが、Mott の suggestion をおぼろげに入れ、朝永さんを始め、物性の方の人々をきり、相談して、試案を作りました(別面参照)。実施は 6月16日と24日の session は素粒子物性共通とし、素粒子の方の sessions は 17, 18, 19, 21 の四回、物性の方の sessions は 17, 18, 22, 23 の四回とし、17, 18 の二日は parallel に開きます。素粒子の方では 22, 23、物性の方では 19, 21 の二日ずつ session は開きませんが、この二日は、小グループでの informal talk, personal な接触の機会に使いたいと思ふ。尚、日本の研究者の仕事の紹介は、素粒子の方では今年中位には合理的なため、一部門は一人の人でまとめておぼろげに... 承知のようですが、物性の方は short comm. of original papers を入れたいと思ふ。この目的は、... 上の "free" の日が使えるか*

